

防 災 訓 練



入曽地区 中原自治会会場にて

平成21年8月29日(土)、市内57箇所において防災訓練が行われました。当日は三角巾を用いた応急処置訓練や、毛布などで担架を作る搬送訓練を実施しました。参加された市民の皆さんは、「初めて知った。家でももう一度やってみます。」といったようなご意見や「このような場合はどうしたら良いですか？」など、応急処置や搬送に対して熱心に質問する場面も見られました。

また、同時進行で狭山市消防団、狭山市消防本部、所沢市消防本部、入間市消防本部で連携して小学校での火災を想定した救助訓練も実施されました。訓練の最後には埼玉県の防災ヘリが要救助者を救助し、会場から飛び去ると参加者からの拍手が起こりました。また、レスキューによる屋上からの緊急脱出も好評でした。

ゴルフコンペ

毎年恒例の狭山市消防団119会ゴルフ大会が平成21年9月18日(金)飯能グリーンカントリークラブにて開催されました。当日は天候にも恵まれ絶好のゴルフ日和になり参加人数70名と多数の方々の参加をいただくことができました。団体の部と個人の部とそれぞれ順位を決め団体の部では、第3分団がみごと優勝し、個人の部においては第3分団、牛窪博文さんが優勝を獲りました。何事もなく無事にゴルフ大会及び懇親会も終了し、団員相互の交流をより一層深めることが出来ました。



操 法 大 会



小型ポンプの部 優勝 第4分団1部2班

平成21年10月18日(日)、上奥富運動公園内仮設訓練場において、小型動力ポンプ(8隊)・消防ポンプ自動車(13隊)合計21隊が参加し、日頃の訓練の成果を競う「第9回狭山市消防団ポンプ操法大会」が実施されました。ポンプ操法とは、実際の火災現場での消火活動の基本となる動作です。現場に到着し、水利を確保。ホースを結合、火点に向けて放水を開始。この一連の動作を各隊が指揮者の指示の下、安全かつ迅速に、そして規律や敏捷性、タイムなどを競い合います。今回の大会では、各隊が接戦を演じる中、小型動力ポンプ・消防ポンプ自動車ともに、第4分団が優秀な成績を収めました。

～優勝隊指揮者 横山裕一さんの言葉～

私にとって操法大会は実際の火災現場そのものだと思います。正確・安全・迅速に、緊張感の中、普段の訓練通りに行動する。なかなか訓練や経験を積まないと出来ない事だと思います。私が入団した時には、入団式の日に大きな火災があり、出動しましたが、先輩たちに言われるがままで、とても慌ててしまったのを覚えています。しかし、厳しい訓練を経て、大会を終えると、小さな自信が芽生えました。そして、やっと消防団員の仲間入りができたかと、感じる事ができました。それと同時に、操法大会は消防団員として、しっかりとした行動がとれるようになる良い訓練の一つだと思います。それぞれが仕事を持ち、忙しい日々ですが、今の私たちが在るのは深い絆があってこそだと、誇りを持って言えます。



ポンプ車の部 優勝 第4分団1部